

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 東京大学大学院医学系研究科免疫学
教授 高柳 広 先生
2. 演題 骨免疫学と自己免疫 Osteoimmunology and autoimmunity
3. 日時 2019年9月11日(水)17:30~19:30
4. 場所 M&D タワー2階 共用講義室2
5. 要旨

骨は、運動器の一部であるだけでなく、ミネラル代謝に関わり、造血幹細胞を維持し必要に応じて末梢に動員する重要な免疫器官でもある。関節リウマチや歯周病の骨破壊の研究における免疫→骨の関係だけでなく、骨→免疫という両方向性の関係が証明され、骨免疫学が本当の意味で確立された。ここでは、炎症性骨破壊、可溶性 RANKL、骨転移など、骨免疫学の進展を概説する。さらに、自己免疫を防ぐための基本原理である中枢性免疫寛容の成立に重要な胸腺髄質上皮細胞における組織特異抗原の制御について最新の知見を紹介する。

Ref) [Nat Rev Immunol](#). Osteoimmunology: evolving concepts in bone-immune interactions in health and disease (2019)

連絡先: 中島 友紀 (分子情報伝達学分野 内線 5472)